

【特集】
スポーツの力で野田を元気に

スポーツ環境の整備

近年の財政状況からみても、新たな施設の整備は困難な状況であるため、短期的な視点でのスポーツ環境整備としては、学校の体育



簡単な動作でも奥深いゲーム性
(写真はラダーゲッター)

ルをかける時間を競うラダーゲッターや目標球にボールを投げて近づけるボッチャなどのニュースポーツは分かりやすいルールに簡単な動作なので、障がいがある方もない方も一緒に楽しむことができます。

野田市スポーツ推進委員が、市内で障がい者スポーツの講習会を行っています。

館など身近にある既存の施設を有効活用することやまちなかの道路を活用したウォーキングコースの設定など、大規模な整備を必要としない、スポーツの場の確保に向けた取り組みを進めていきます。

◆インターネット予約

平成29年度から総合公園や閑宿総合公園などの体育施設のインターネット予約を開始しました。

利用開始から平成30年2月末時点で、全体の申込みが1万662件に対して、インターネット経由は半分以上の5千566件で、開始初年度から多くの方に利用いただいています。

◆夜間のスポーツ教室

これまで総合公園体育館や閑宿総合公園体育館では、多様なスポーツ教室を開催してきました。

最近では、市民のライフスタイルが多様化しており、一日の仕事の後にもスポーツを楽しんでもらえるよう、夜間の時間帯での教室を用意しています。

また、要望の多かった、受講者を女性や初心者のみとする教室も開催しています。



女性のための教室で気兼ねなくスポーツ



夜間教室で時間を有効に活用

◆早朝の施設利用を開始

夏はスポーツの季節です。しかし、炎天下でのスポーツには、脱水症状や熱中症などの危険性が伴います。

そこで、7月から8月までの期間に、気温がまだ上がりきらない朝の時間帯でスポーツを楽しんでもらえるように、総合公園や閑宿総合公園の野外施設（陸上競技場を除く）の開場時間を2時間早めた7時からとしています。

◆パークゴルフ場整備

北海道生まれのニュースポーツであるパークゴルフは、手軽で簡単なルールで子どもから高齢者まで家族そろって楽しめます。

全国で50万人の競技人口がいるといわれており、自然の中で明るく健康的に楽しめるスポーツを野田でも楽しんでもらおうと、施設の整備を「スポーツ推進計画」に盛り込み、長期的な視点で今後の整備の検討を進めていきます。

◆中核的施設の子ども館を整備

子どもが遊びによって心身の健康を増進し、情緒を豊かにできる施設として子ども館があります。

今後は、遊びの内容を充実させていくとともに、遊びを通して学べる、一定の規模をもった中核的施設の子ども館を清水公園近くに整備する計画の検討を始めます。